

令和7年度 第1回読谷村まち・ひと・しごと創生審議会	
日 時	令和8年1月8日(木)14:00～15:00
場 所	読谷村役場 3階大会議室
議事項目	(1)委員より自己紹介 (2)会長及び副会長の選任 (3)諮問(施策の検証について) (4)審議会会長あいさつ (5)議事 1)審議会の進め方について(資料1) 2)概要説明【関連事業に係る中間評価について】(資料2～4)
配布資料	資料①:審議会の進め方について(案) 資料②:地方創生総合戦略・交付金活用事業概要・審議ポイントについて 資料③:中間評価調書 資料④:地域再生計画「美ら水で」いちゅいゆんたんざプロジェクト 参考1:読谷村まち・ひと・しごと創生審議会規則 参考2:読谷村まち・ひと・しごと創生審議会委員一覧

○出席者

	分野・委員会における 位置づけ	氏名	団体	出欠
委員	官・(1)副村長	古堅 守	読谷村	○
	産・(2)知識経験を有する者	比嘉 達也	株式会社 沖縄クリーン工業	○
	産・(2)知識経験を有する者	幸地 正樹	ケイスリー 株式会社	○
	産・(3)村内の各種団体を代表する者	大城 朝和	読谷村商工会	○
	産・(3)村内の各種団体を代表する者	比嘉 等	一般社団法人 読谷村観光協会	○
	産・(3)村内の各種団体を代表する者	山内 卓	読谷村漁業協同組合	×
	村・(4)村民	伊波 正景	読谷村公民館連絡協議会	×
	村・(4)村民	兼次 美智	読谷村公民館連絡協議会	×

		子		
	官・(5)その他村長が 適当と認める者	山内 嘉親	読谷村	○
事務局	企画政策課 課長	知花 正人		
	企画政策課 係長	知花 圭太		
	企画政策課 主査	當山 翔太		
	上下水道部 部長	山城 勝司		
	上下水道課 係長	久貝 斉		
	上下水道課 技査	山城 洋次		

議 事 内 容	
(1)委員より自己紹介 (2)会長及び副会長の選任 (3)諮問(施策の検証について) (4)審議会会長あいさつ (5)議事 1)審議会の進め方について(資料1) 2)概要説明【関連事業に係る中間評価について】(資料2～4) 資料説明(事務局・當山、久貝)	
質 疑 応 答	
委員	汚水処理人口普及率の増加を目指していくとの説明があり、その手法として公共下水道の整備と浄化槽の設置に取り組むとある。それぞれの取組みが汚水処理人口普及率の増加にどのぐらい影響を与えたかも分かたりするのか？ どの部分に力を入れることで普及率の増加を図っていくのか？
事務局	➤ 区分けとして、伊良皆以南の南部地域は下水道区域、それ以外は合併処理浄化槽区域として整備していく方針。現在は公共下水道の整備に力を入れているところ。現在活用している交付金の9割以上を公共下水道の整備に充てる計画である。
委員	公共下水道と浄化槽ではどちらの方が住民にとって良いなどもあるのか？
事務局	➤ どちらにもメリット・デメリットがある。浄化槽については個人設置となる為、維持管理を個人で行う必要があるが、それが十分で

	ないと施設の機能が保てなくなり、最終的には海洋汚染につながる恐れがある。公共下水道については維持管理を公共が行うため、住民にとっては手がかからず、水質の安定化にも繋がると考えている。
委員	浄化槽の維持管理に関するデメリットの説明があったが、個人任せにすると放流水質が悪化し、海域汚染につながる懸念がある。浄化槽設置については、補助金交付時だけでなく、その後の維持管理の状況も把握すべきではないか。
事務局	➤ 現在、補助金交付申請時の契約書類の確認のみであり、その後の維持管理状況までは調査できていないのが実情である。今後個々人で適切に維持管理がなされるものと認識している。
委員	合併処理浄化槽区域の人口はどれぐらいになるか？予算的な面からでも合併浄化槽の方が安価になると思うが、将来的に海洋汚染の原因とならないか懸念があるが、村の考えは？
事務局	➤ 合併処理浄化槽区域の人口としては、約2万4千人である。区域設定の考え方については、県の計画との整合など、県とも協議しながら設定しているところ。浄化槽地域については国の交付金などを活用しながら住民負担を少なく整備していけるよう取り組んでいるところである。公共下水道については整備率としては上がっていくが、接続率も上げていかなければいけない。接続の意識啓発にも取り組んでいるところ。
委員 事務局	目標値について、数値の修正も考えているか？ ➤ 国とも調整となるが、当該事業(配布資料③)に関しては修正可能と考えている。 将来的にはゆたさむら推進計画自体の目標値の修正も検討する必要があると考えている。今回の審議会でのご意見については、次年度以降開催する審議会に引継ぎ議論したい。
委員	指標設定について、今回の事業と直結する指標として、村営ビーチで毎年水質検査を行っている。その検査結果を用いることも調査検討いただきたい。また、比嘉委員からあった維持管理の後追い調査について、今後検討してはどうか。

委員 事務局	単独浄化槽と合併浄化槽の世帯数は把握しているのか。 ➤ 浄化槽の世帯数について、令和5年度に調査を実施しており把握している。
委員	資料③記載の「今後の方針」について。整備延長を増加する計画となっているようであるが、予算増額要望は無しとなっている。こちらで問題ないか？期間の延長を行うことで予算内に収まるという認識でよいのか？
事務局	➤ 事業費については増額となる見込みなので、増額要求していきたいと考えているところ。